



個性的な髪形で髪をすすする汪雨陽(ワン・ユイヤン)は、昼間は理髪店で、夜は屋台で働いている(右)、派手なワンピース姿で物憂げな表情をのぞかせる楊潔(ヤン・チエ)は教育大学で学ぶ学生

## \$9 FASHION 全身9ドルの服が語る中国の肖像

PHOTOGRAPHS BY QUENTIN SHIH

ポップな色彩にキッチユな着こなし、どこかぎこちないモデルたち……現代中国をリアルに切り取るファッションフォトが並ぶ。ただしここには、華やかな舞台もプロのモデルも、高級ブランドの新作も登場しない。写真家クエンティン・シー(時晧凡)が挑んだのは、異色づくめのファッション撮影。中国の小さな地方都市、山西省南部の臨汾市を舞台に、素人の住民をモデルに起用して予算9ドルで洋服をコーディネートさせた。スタイリングの唯一のルールは、地元の店で地元のスタイリストと共に探した「メイド・イン・チャイナ」の安い服だ。

「単なるドキュメンタリーにたくはなかった」とシーは言う。「中国社会の肖像と、鮮やかな色彩あふれる作り物のファッション界を融合させたかった」そこから見えてきたのは、北京や上海などの大都市とはまったく異なる真実の中国の姿。急速な発展と古い伝統のはざま、地方に暮らす若者たちは自分自身を見失っている。自分は何者か、どこから来たのか、そしてどこへ向かうのか――。

ファッションとは本来、アイデンティティを物語るもの。自己の在り方に迷う彼らと、9ドルのファッションが、不思議な調和をもって語り掛ける。





(上段右から)ローラースケート場にたたずむ公務員の陳喬(チェン・チアオ)、ジャケット姿でポーズを取る大学生の銀剣(イン・チエン)、ネオンピンクの服と唇でスタイリングした大学生の李杏(リー・シン)



(下段右から)横たわる大学生の郝婧(ハオ・チン)、負傷して片足が不自由になり人民解放軍を退役した李佳沢(リー・チアツォー)はこの街で唯一のローラースケート場で働いている、楊春貴(ヤン・チュンコイ)と文彦(ウエン・イェン)は共にレストランの従業員

